



TENTSILE

テントサイクル ユニバース

オーナーズマニュアル

本製品を設置・使用する前に、このマニュアルの内容を必ず読んで理解してください。



警告

テントサイルはおもちゃではありません。

大ケガをする恐れあり

A使用する前には毎回必ず、テントサイルのフロア、ストラップ、ラチェットを見て、触ってチェックしてください。

安全上の理由から、ストラップとラチェットは2年おきに交換してください。

屋外に1週間以上放置しないでください。

使用前に、アンカーポイントに選んだ木の健康状態と強度をチェックしてください。

推奨する設置高: 1.2m

最大荷重: 400kg

最大荷重を絶対に超えないようにしてください。

おめでとうございます！

これで、あなたも

テントサイル ユニバース ツリーテント
のオーナーです。

本製品を設置・使用する前に、
このマニュアルの内容を必ず読んで理解してください。

03: はじめに

35~48: 空中設置ガイド

04: ご利用条件

49~58: 水上設置ガイド

05: 仕様

59: 目視による調整

06: バッグの内容

60: ラチェットの使用方法

07~08: 警告と免責事項

61: 各種ポリシー

09~34: 地面設置ガイド

62: 注意事項

はじめに

テントサイル ユニバースは地面／空中／水上に設置できる世界初の3WAYテントです。

ユニバースはアウトドア市場に類を見ない画期的なシェルターであり、ツリーテントのパイオニアとして知られるテントサイルの新製品です。

このファミリーサイズのテントは、さまざまな地形に対応します。地面に設置すれば、3つの広いポーチを備え、フロアにパッドや断熱材を配したスタンダードなテントになり、木の間に張れば、丈夫なフロアと十分な収納、フロア下のゆとりあるスペースを備えたツリーテント(業界初のスタンディング型多層テント)になります。湖や川に係留すれば、『ハックルベリー・フィンの冒険』に出てくる”いかだ”のようなウォータークラフト／ポンツーンで友人と楽しいひとときを過ごせます。

テントサイルのツリーテントが1つ売れるたびに、18本の木が植えられています。

遊び、キャンプ、探検……

ご利用条件

テントサイルのツリーテントは、必ず本マニュアルの指示に従ってセットアップしてください。最大重量は400kgです。

絶対に飛び乗ったり、トランポリンやブランコのように揺らしたりしないでください。ロックライミングはもとより、断崖やオーバーハング、急斜面の上や近くで使用することは想定していません。

ベースは12psi以上に空気を注入してからご使用ください。そうしないと、正常に機能しなかったり、コンポーネントが損傷したりする恐れがあります。ベースの最大空気圧は16psiです。ベースに損傷を与える恐れがあるため、最大空気圧以上にふくらませないでください。

ベースに穴や損傷があれば、使用しないでください。パンクするとベースがふくらまないため、テントも使用できなくなります。ベースに穴や損傷が生じないよう、くれぐれも注意してください。

地面や凸凹の面でベースを引っ張らないでください。パンクしたり、損傷したりする恐れがあります。

テントは尖ったものの上には設置しないでください。ベースをパンクさせる恐れがあります。

テントの中では、尖ったものや熱いものを使用しないでください。ベースに触れるとパンクや損傷を招く恐れがあります。

パンクや損傷を招きそうなものや地面の上では、空気を注入したベースを使用しないでください。

水上に浮かべたユニバースでは寝ないでください。

水上に浮かべる場合は虫よけメッシュを使用しないでください。人が閉じ込められる恐れがあります。

ベースやテントを清掃する際、石油系製品や溶剤は絶対に使用しないでください。損傷を与える恐れがあります。

テントの中で火気を使用しないでください。空気注入式のベースやテントのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

使用後は洗って乾かしてください。

この製品を本来の目的以外に使用しないでください。設置高や重量制限にいつも注意してください。

壁やフェンス、通りに設置された公共物(電柱や道路標識等)、ルーフラック、可動式の台、柱、直径25cm未満の木は強度が不足している恐れがありますので、アンカーポイントとして使用しないでください。

この製品に付属している固定具以外は使用しないでください。

地面から1.2mを超える高さに設置しないでください。

毎回使用する前には、テントの全コンポーネントとすべてのアンカーポイントを必ず見て、触ってチェックしてください。損傷している／正常に機能しないパーツがあれば、ユニバースは使用できません。損傷しているパーツを見つけたら、すべて交換してください。

中毒性のある物質を摂取した後は、設置・使用しないでください。

お子様は常に大人の監督下に置かなければなりません。

構造的に弱くなっているように見える木や枝には結びつけないでください。

テントに人が乗った状態でラチェットを調整したり、開いたりしないでください。

雷雨や強風の際は使用しないでください。

地盤が不安定な場所では使用しないでください。

テントサイルのツリーテントは、動物から守ってくれるわけではありません。

テントサイルのツリーテントは一時的なシェルターやアウトドアベースとしての使用を意図しており、永久的な構造物として放置することは想定していません。日光や風雨に長期間さらされると、パーツやコンポーネントが劣化して製品に不具合が生じ、保証の対象外となります。

仕様

サイズ:

4.1 x 4.1 x 4.1m

室内の高さ:

170cm

フロア面積:

8.5㎡

テントの重量:

45kg

雨に濡れないポーチエリア

(地上面積):

15㎡

ポール:

ポールハブ & センターピース × 1セット

(短いポール3本 & 長いポール3本付き)

サポートポール × 6本

(直径11mm、陽極酸化アルミニウム合金)

出入り口:

4カ所

ラチェット & ストラップ:

ストラップ × 3

頑丈なラチェット × 3

(最小破壊強度2.5トン)

バッグサイズ:

110 x 40 x 40cm

ルーフ:

グレード3の虫よけメッシュ、YKKのジッパー、ポリウレタンでコーティングしたアンダーカバー

レインフライ:

ポリウレタンでコーティングして防水加工を施した70Dのポリエステル(耐水圧3000mm)

フロア:

空気注入式のフロアにポールソケットとセンターハッチ

最大収容人数:

地面に設置する場合は大人5人
空中に設置する場合は大人3人
水上で使用する場合は大人3人

バッグの内容



ユニバース
空気注入式フロア



コーナーポール
ソケット × 3



ユニバース レインフライ



ラチェット × 3



ユニバース メッシュ



ストラップ × 3



サポートポール × 6



スクリーューペグ &
バンジー × 12



ポール付きポールハブ × 1



ハンドポンプ

最大荷重の400kgを絶対に超えないようにしてください。

警告と免責事項

テントサイルのツリーテントは高所で設置・利用する場合があります、ケガや死亡事故につながる危険性があります。

ユニバースの使用中は細心の注意を払ってください。

お子様がユニバースを使用する場合は、常に大人がしっかりと監督してください。子供だけでユニバースを使用することはできません。

設置作業は決して未成年者に行わせてはいけません。大人が設置する場合でも細心の注意を払ってください。

テントサイルのツリーテントパッケージに含まれ、本マニュアルやテントサイルの資料で推奨しているもの以外のコンポーネント、パーツ、ツールや素材は使用しないでください。

空中に吊り下げた設備の利用は危険を伴う可能性があり、正しく使用していても重傷や死亡事故につながる恐れがあります。自己責任で利用し、いつも常識に従って行動してください。

テントサイルのツリーテントの製造元および販売元は、本製品の使用に起因する、または本製品の使用に関連して生じる、死亡、麻痺、障害などの人的被害および物的損害について、一切の責任を負いません。

水上で使用する場合:

水上で不適切に使用すると、ケガや溺死につながる恐れがあります。利用者全員のために救命胴衣を常備し、各種ルールや警告、常識に従って行動してください。

水上では、虫よけネットを使用しないでください。人がテントに閉じ込められ、ケガや溺死の危険性が増す恐れがあるためです。

水上では、レインフライの出入り口にあるジッパーは閉めないでください。人がテントに閉じ込められ、ケガや溺死の危険性が増す恐れがあるためです。

水上で使用する際は、ユニバースが流されないようにしっかりと係留し、製品の損傷や人への危険を回避してください。

嵐や雷の際は、ユニバースは使用できません。使用中に天気が急変したら、使用を中止して直ちに陸上の安全な場所へ避難してください。

ユニバースから水に入るときは、頭から飛び込んだり、後方宙返りや前転を試みたりしないでください。重傷や死亡事故につながる重大な危険性があります。必ず、足から先に着水してください。

ユニバースはボートや水上バイクで曳航することを想定した設計にはなっていません。

ユニバースの下で泳いだり遊んだりすることは絶対に避けてください。

ボートや水上バイクでユニバースを曳航しないでください。ユニバースは曳航されることを想定していないため、製品に損傷を与え、利用者に危険が及び、保証の対象外となります。

ユニバースと他の浮遊物(ドック、プラットフォーム、ボート、桟橋等)との間には、常に安全な距離を保ってください。フローティング型ではないドックなどの固いものにユニバースを係留する場合は、接触しないように注意し、摩擦などの損傷を回避してください。

公共のプールなどの混雑した場所では使用しないでください。ユニバースをプールで使用する際は、ケガやテントの損傷を防ぐために、プールサイドに注意してください。プールの側面や周辺の凸凹した面で、テントのベースなどのパーツが傷つく恐れがあります。

ボートや桟橋、ドックや岩など、あらゆるものから安全な距離を取ってください。ボートが頻繁に通る場所にはユニバースを設置しないでください。接触や衝撃によってベースなどが傷つくと、製品に不具合が生じ、利用者に危険が及び、保証の対象外となります。

使用しないときはユニバースを安全な場所に保管し、子供や未成年者が勝手に使用できないようにしてください。

ユニバースで遊ぶときは、常識を働かせてください。

ユニバースを飛び込み台として使用したり、他の場所へのジャンプ台として使用することはできません。

水上で使用する際は、レインフライの端をDリングに通し、ループに戻して、レインフライのコーナーを固定することができます。

チューブ内の空気圧は気温や水温によって変動しますので、これに応じて気圧の調整が必要になる場合があります。非常に暑い日は損傷を避けるために、適宜チェックし、空気圧を下げましょう。暖かい陸上で完全にふくらんだ製品でも、冷たい水に浮かべると空気圧がやや下がります。

地面で使用する場合:

ユニバースを地面で使用する際は、空気注入式ベースの下にグラウンドカバーを敷いてください。そうすれば、ベースがバンクなどの損傷を受けにくくなります。穴の開いたベースは保証の対象外となります。

テントの中では、尖ったものや熱いものを使用しないでください。ベースに触れるとバンクさせる恐れがあります。

バンクを招きそうなものや地面の上では、空気を注入したベースを使用しないでください。

空中で使用する場合:

テントを吊り下げる／張る仕組みの強度は、一番弱い部分によって決まるため、あらゆる指示やガイドラインを守らなければなりません。

テントサイルのツリーテントは、本マニュアルで指定した方法でしか使用してはいけません。ツリーテントを組み立て、設置する際には、アンカーポイントに強い力がかかりますので、細心の注意を払いながら作業し、ケガや死亡事故を防止してください。

テントサイルのツリーテントに400kg超の荷重をかけると、負担が増し、アンカーやツリーテント、各種パーツに不具合が生じて、ケガや死亡事故を招く恐れがあります。

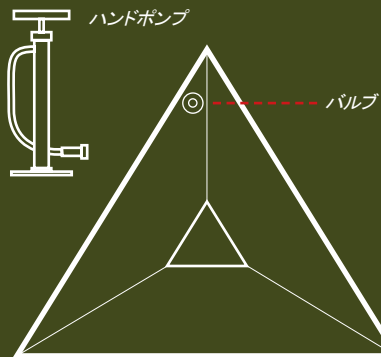
地面設置ガイド

1. しっかりした地面で、表を上にして(バルブが表にくるように)ユニバースを広げます。ハンドポンプを見つけ、バルブの位置を確認します。

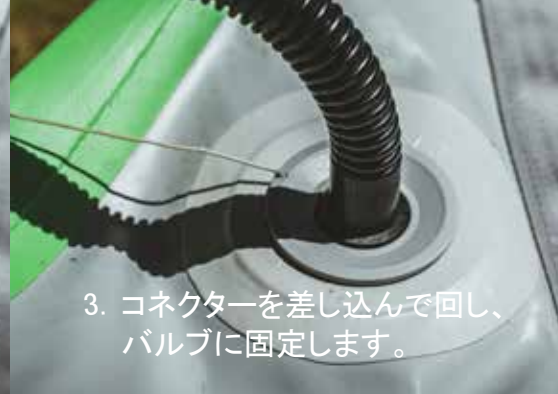


ベースに空気を入れる

ベースにはハンドポンプまたはSUPボード用の電動ポンプで空気を入れる必要があります。ポンプをバルブにはめ込み、空気圧が15psiになるまで注入してください。15psiに達したら、ポンプを外し、バルブカバーを装着して、ふくらんだ状態をキープします。



2. ベースのバルブカバーを外し、ポンプのコネクターを差し込みます。



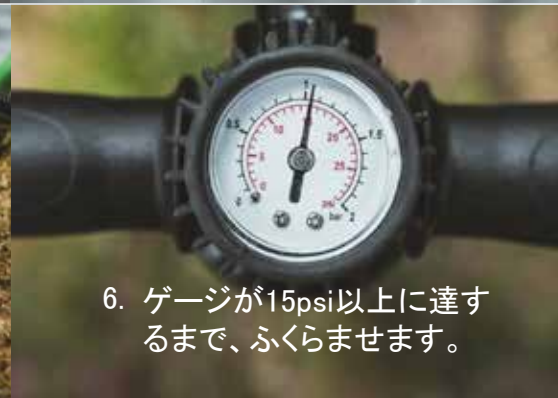
3. コネクターを差し込んで回し、バルブに固定します。



4. ポンプを足で支えて安定させ、空気を入れ始めます。



5. 空気を入れながら、ベースが問題なく均一にふくらんでいることを確認します。



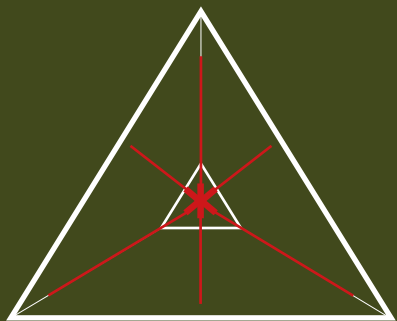
6. ゲージが15psi以上に達するまで、ふくらませます。



7. 空気圧が15psi以上に達したら、コネクターを外し、バルブカバーを装着します。

メインのポールハブ

ポールハブには6本のポール(長いポール3本と短いポール3本)が付いています。広げてポールをつなげたら、フロアに配置してください。長いポールをコーナーに、短いポールをサイドに向けます。



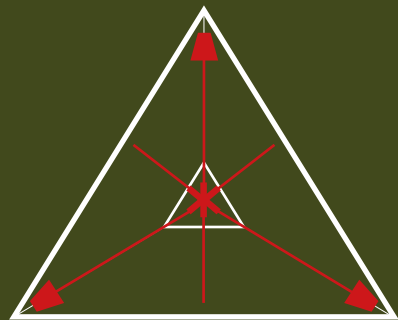
8. ポールを装着したポールハブを、空気を入れたベースの上に置きます。



9. 長いポール3本をコーナーに、短いポール3本をサイドに向けてください。

長いポールを立てる

各コーナーには3口のポールソケットがあり、ユニバースのベースポールをこれにすべて装着します。長いセクションポールの端を各コーナーのセンターソケットに差し込んでください。そうすれば、ポールが立ち上がり、ユニバースの基本構造ができます。



10. フロアの各コーナーに付いている3口のポールソケットを見つけます。



11. 長いポールを真ん中のソケットに差し込みます。



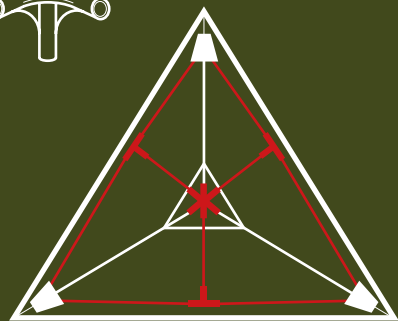
12. 長いポールを3口のソケットに差し込むと、ポールが立ち上がり、基本構造ができます。

コーナーポールソケット

サポートポール6本とコーナーポールソケット3個を取り出します。ハブに付いた3本の短いポールの先に、このソケットを装着してください。そうすれば、6本のポールでフロアの3口ソケットと3つのコーナーポールソケットをつなぐことができます。



コーナーポールソケット



13. 残る6本のサポートポールと3個のコーナーポールソケットを取り出します。



14. ハブに付いた3本の短いポールの先に、ソケットを装着します。



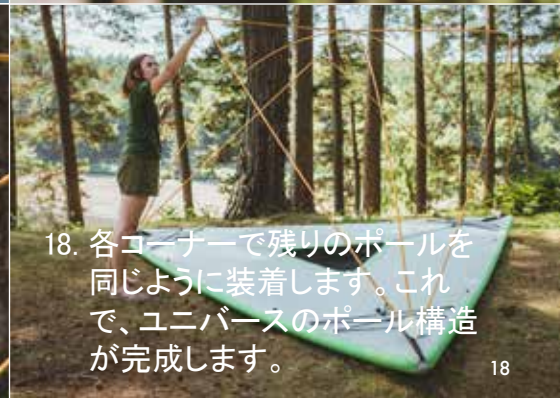
15. 空きソケットを下に向けて、ポールを端まで押し込みます。



16. サポートポールの1本を3口ソケットに差し込みます。



17. ポールの反対側をコーナーポールソケットに差し込みます。

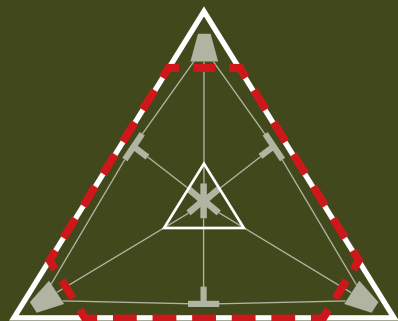


18. 各コーナーで残りのポールを同じように装着します。これで、ユニバーズのポール構造が完成します。

インナーメッシュ

インナーメッシュをポール構造の下に装着します。メッシュのベース部分はフロアの下で留め、センターハッチごしに接続します。

ベースをしっかりとカバーするために、フロア下で留めるコネクターがいくつも用意されています。



19. インナーメッシュのバックルを外して、広げます。



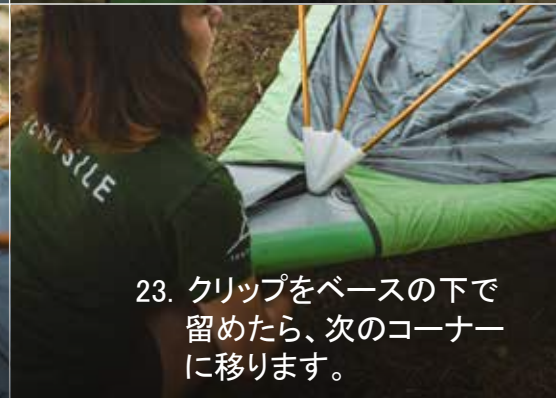
20. メッシュのCクリップが表にくるように、インナーメッシュのコーナーを持ちます。



21. インナーメッシュのコーナーで3口ポールポケットの内側を包みます。



22. クリップの付いた端をベースの下に回します。



23. クリップをベースの下で留めたら、次のコーナーに移ります。

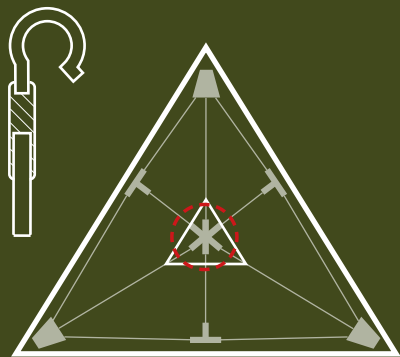


24. インナーメッシュがねじれたり引っかかりしないように注意しながら、同じ作業を各コーナーで繰り返します。

インナーメッシュを固定する

インナーメッシュの中央にある紐をポールハブに結び付けます。シンプルな蝶結びにしてください。

インナーメッシュにたくさん付いているCクリップをポールに装着すれば、しっかりと固定されます。



25. インナーメッシュの中央にある紐を見つけます。



26. この紐をポールハブに結び付けます。



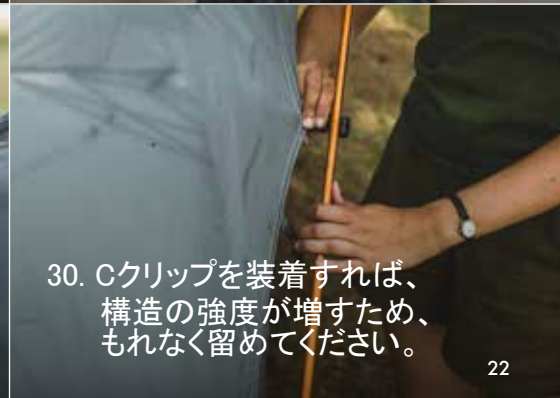
27. 外しやすいよう、蝶結びにしてください。



28. すべてのポールソケットとクリップをもう一度チェックします。



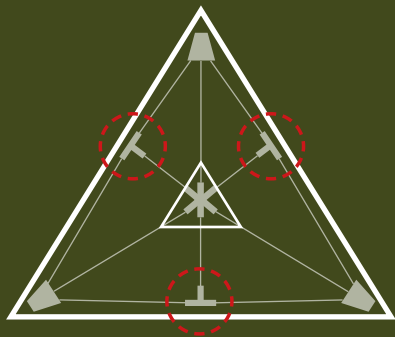
29. インナーメッシュのCクリップをポールに装着します。



30. Cクリップを装着すれば、構造の強度が増すため、もれなく留めてください。

上部のコーナーを結び付ける

インナーメッシュをポールに固定するため、コーナーポールソケットに結び付けます。コーナーは各出入口の上にあります。外しやすいよう、シンプルな蝶結びにしてください。



31. 上部の各コーナーにもひもが付いています。



32. コーナーポールソケットに結び付けます。外しやすい蝶結びにしてください。



33. こうすれば、構造の強度がさらに増し、出入口の中心に合わせることができます。

メッシュのアンダークリップ

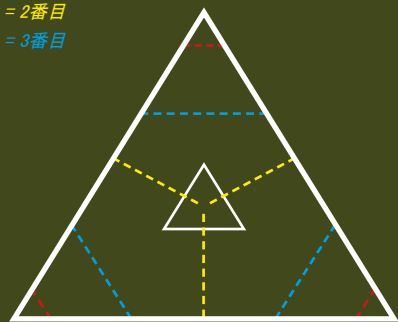
インナーメッシュをベースの下で留め、全体をしっかりカバーします。まずはセンターストラップをセンターハッチのほうに伸ばし、3wayクリップに装着してください。次に、各コーナーの真ん中、そして先端にある**3本のストラップ**をそれぞれ留めます。

装着する順番:

赤 = 1番目

黄 = 2番目

青 = 3番目



34. インナーメッシュ下の
一辺に3wayクリップが
付いています。



35. このクリップをベースの
センターハッチに向けて
伸ばします。



36. このクリップに他のセンター
ストラップを装着します。



37. 各コーナーを持ち上げて
残りのストラップをクリップ
で留めます。



38. コーナー先のストラップ
もクリップで留めます。

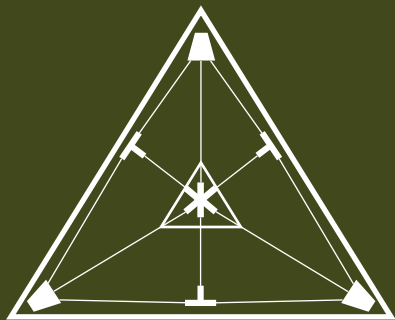


39. すべてのクリップがきちんと
装着されているかどうかを
最終チェックします。

メッシュの完成

これで、テントサイル ユニバースのフロアとメッシュが完成しました。ポールとCクリップがどれも正しく装着されているかどうかを念入りにチェックしてから、レインフライに移ります。

これは、地面でも空中でも、虫に悩まされないスペースを確保するための手順です。



40. すべてのクリップと結び目がきちんと固定されているか、すべてのポールがソケットにしっかり差し込まれているかどうかをもう一度チェックしてください。

レインフライを装着する

レインフライは簡単に装着できます。コーナーから始め、トップにかぶせてください。6本の縫い目が合流する部分がセンターですので、そこをセンターハブに合わせます。センターから広げていけば、3つのコーナーソケットにぴったりフィットするポイントが見つかります。

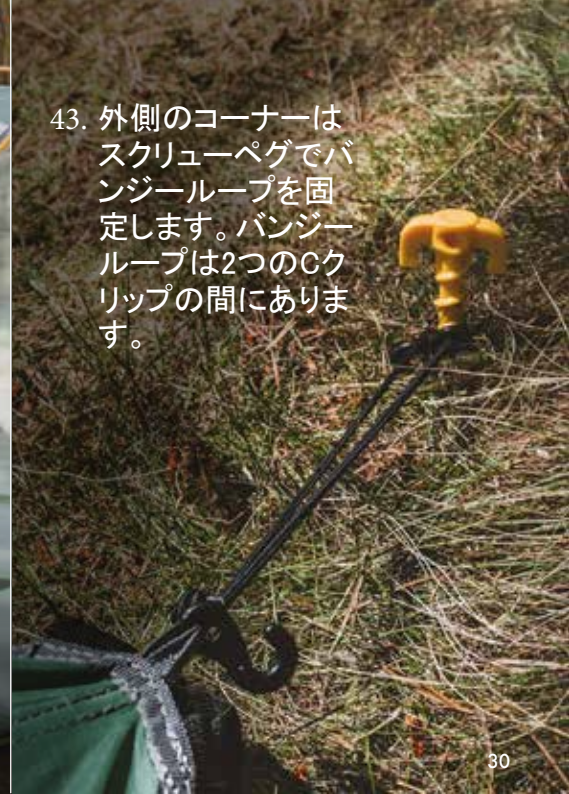


41. レインフライのバックルを外し、裏返しにならないよう注意しながら広げたら、ポール構造にかぶせます。レインフライのコーナーとフロアのコーナーを合わせてください。



42. 縫い目をセンターハブとコーナーポールソケットに合わせながら、トップをかぶせます。

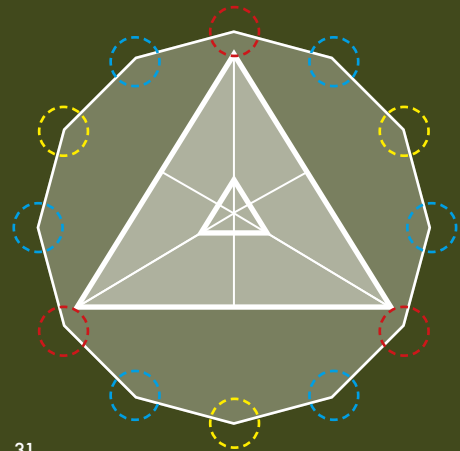
43. 外側のコーナーはスクリューペグでバンジーループを固定します。バンジーループは2つのCクリップの間にあります。



ペグアウトする

レインフライを固定するには、ペグアウトする必要があります。レインフライの端にある12カ所のポイントを固定してください。出入り口は、2つあるバンジーループの片方だけをペグアウトし、開閉できるようにしておきます。

ペグアウトの順番→赤→黄→青



44. 出入り口は、マジックテープの両側にそれぞれバンジーループが付いています。



45. その片方を引っ張ってペグアウトします。



46. 片方だけペグアウトしてもう片方を残しておけば出入り口を開閉できます。



47. 次のコーナーポイントに移ってペグアウトします。



48. 水はけが良くなるように、レインフライをしっかり張ってください。

地面への設置が完了

これで、テントサイル ユニバースが利用できる状態になりました。レインフライを張れば、内部に荷物を置ける3つの収納スペースができます。

出入り口を開けてフックで留めておけば、周囲との一体感を味わうこともできます。

この状態にラチェットとDリングを装着して、3つのツリーストラップで木の間に張れば、ツリーテントになります。

49. 一回りしながら、すべてのペグが固定されていることを確認すれば、準備完了です。

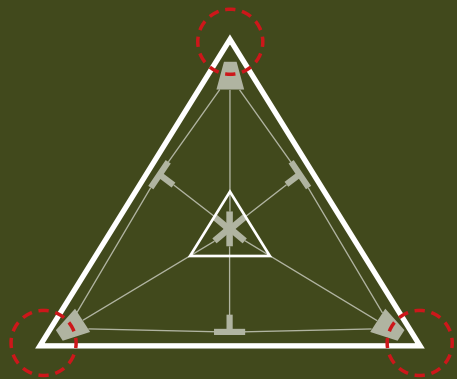


空中設置ガイド



ツリーストラップ

設置場所が見つかったら、まずはツリーストラップを固定し、ラチェットをDリングに装着します。



50. ラチェットとツリーストラップをバッグから取り出します。



51. 選んだ木の回りに、ツリーストラップを巻き付けます。



52. ツリーストラップの端をループに通し、テント本体に向けて、しっかりと引っ張ります。



53. ラチェットストラップをDリングに通します。



54. ラチェットストラップのループにラチェットを通します。

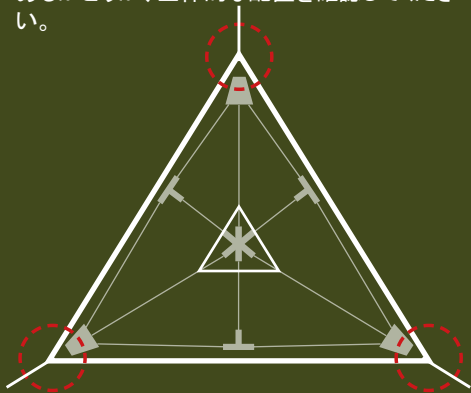


55.しっかりと引っ張り、同じ作業を各コーナーで繰り返します。

ツリーストラップをラチェットに装着する

ラチェットストラップをDリングに取り付けたら、これをツリーストラップに装着します。

装着したら、テントがアンカーポイントの中心にあるかどうか、全体的な配置を確認してください。



56. ツリーストラップの端をラチェットのスピンドルに下から差し込みます。



57. ストラップがねじれないように注意しながら、通します。



58. たるんだ部分を引っ張りますがまだピンと張ってはいけません。



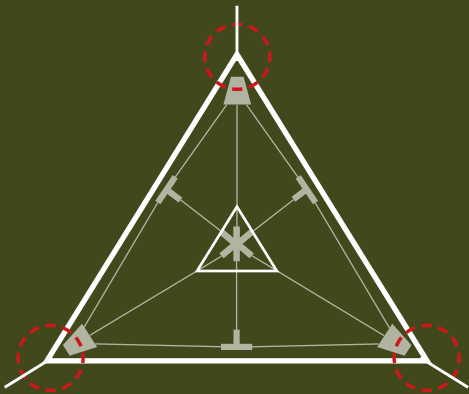
59. 各コーナーで同じ作業を繰り返し、テントの位置を正しく調整します。



60. ラチェットをロックして固定します。

持ち上げる

木の間にテントを張るには、ラチェットの1つをゆるめてストラップを引っ張り、本体を地面から持ち上げます。持ち上がったら、本体がアンカーポイントの中心にくるよう、各ラチェットを調整してください。



61. ストラップを引っ張るためにラチェットをゆるめます。



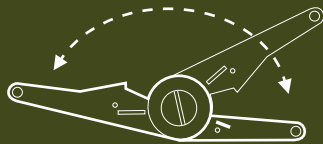
62. テントの位置をあわせながらストラップを引っ張ります。



63. ストラップを引っ張ったら、ラチェットハンドルを前後に動かして、ピンと張ります。

ラチェットをロックする

ラチェットハンドルを動かしてテントをピンと張ったら、ラチェットをしっかりロックして固定します。余ったストラップはきちんと巻き、ループに通して片付けます。



ロック解除された状態

ロックされた状態



64. ラチェットハンドルを十分に動かしたら、ストラップがねじれていないかどうか確認します。



65. ラチェットをロックするには真ん中のレバーをハンドルに向かって引き上げます。



66. ハンドルを倒し、完全に閉じた状態にしてロックします。



67. 真ん中にゴルフボール大の穴を残して、余ったストラップを巻きます。



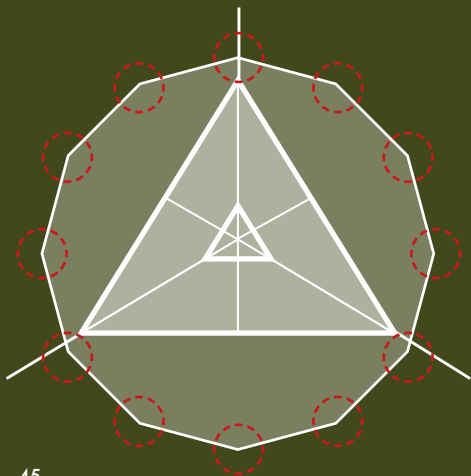
68. 真ん中の穴からループを引き出し、そのループに巻いたストラップを通します。



69. すべてのクリップがしっかりと固定されているかどうかチェックします。

レインフライを固定する

テント本体を持ち上げて固定したら、レインフライをもう一度装着します。
Cクリップをラチェットハンドルに取り付け、バンジーコードとスクリューペグを使用して、ペグアウトしてください。



70. 各コーナーで、Cクリップをラチェットハンドルに装着します。



71. 各ポイントにバンジーコードを装着して外側に引っ張り、レインフライの水はけが良くなるようにします。



72. できるだけ遠くの地面にスクリューペグを差し込みます。

空中への設置が完了

テントに入る前に、あらゆるラチェットとクリップが正しく装着・固定されているかどうかをもう一度チェックしてください。準備ができたなら、ツリーテントを満喫しましょう。

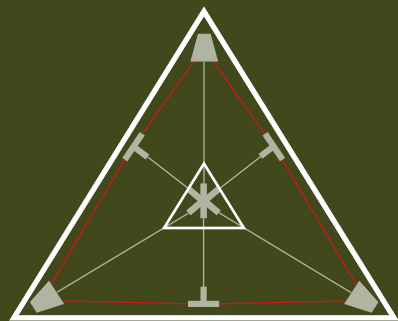


水上設置ガイド



メッシュを外す

ユニバースを水上で使用する場合は、インナーメッシュを必ず外してください。そのためには、Cクリップをすべて取り外し、上部コーナーの結び目を解く必要があります。



73. 各ポールに沿って、メッシュとポールを装着しているCクリップをすべて取り外します。



74. 各コーナーとセンターハブで結び目を解きます。



75. 結び目を解くと、メッシュが外れて、フロアに落ちます。



76. ベースを持ち上げて、コーナー先のメッシュクリップを外します。



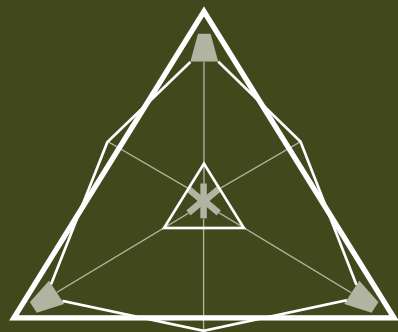
77. コーナー中央のクリップも外します。



78. 最後に、センターの3wayクリップも外してください。これでメッシュを取り外せます。

レインフライの出入り口を開く

レインフライの扉を巻いて固定します。そのためには、扉をポールに向かって巻き戻し、伸縮性のあるストラップクリップで留めてください。そうすれば、3方向に広く開いた状態になります。



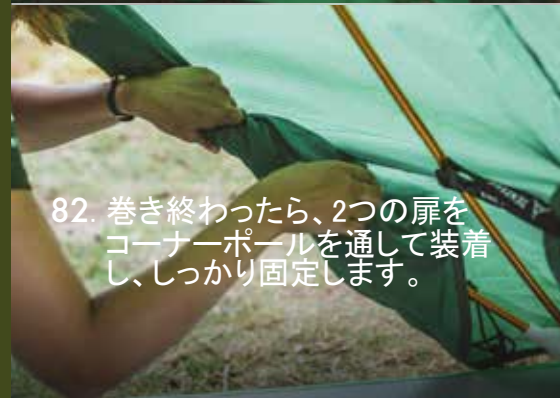
79. 扉の片側をコーナーポールに向かって、きつく巻いていきます。



80. 片側を巻き終わったら伸縮性のあるクリップで留めます。



81. 隣の出入り口の扉も同じポールに向かって巻きます。



82. 巻き終わったら、2つの扉をコーナーポールを通して装着し、しっかり固定します。



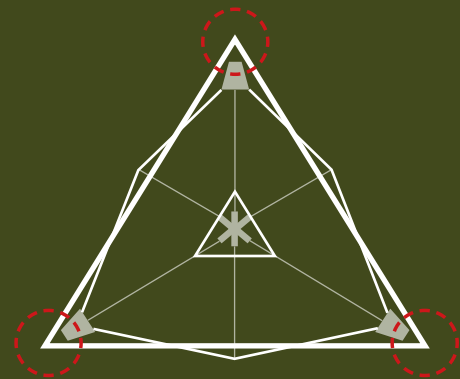
83. 各扉から伸縮性のあるクリップを持ってきて、装着します。



84. 扉をしっかり固定したら、各コーナーで同じ作業を繰り返します。

Dリング

コーナーラチェットをDリングから取り外します。扉を巻き戻した状態で、レインフライのコーナークリップをDリングに通したら、バンジーの付いていないフックをレインフライのループに取り付けてください。



85. ユニバースを地面に置いた状態で、各コーナーのラチェットを取り外します。



86. 空いたDリングにレインフライのコーナークリップを差し込みます。



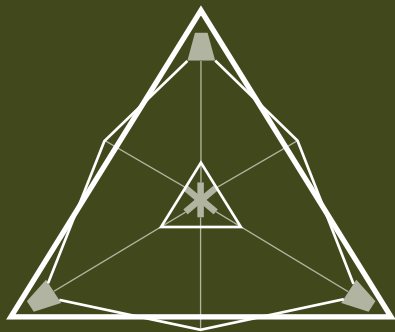
87. 通したら、レインフライに向けて引っ張り戻します。



88. バンジーの付いていないコーナーフックをレインフライのループに取り付けます。

準備完了

巻いた扉がしっかり固定されているか、ベースに損傷がないかどうかをもう一度チェックしたら、ユニバースを水際に運んで浮かべます。流されないように、しっかり係留しておいてください。

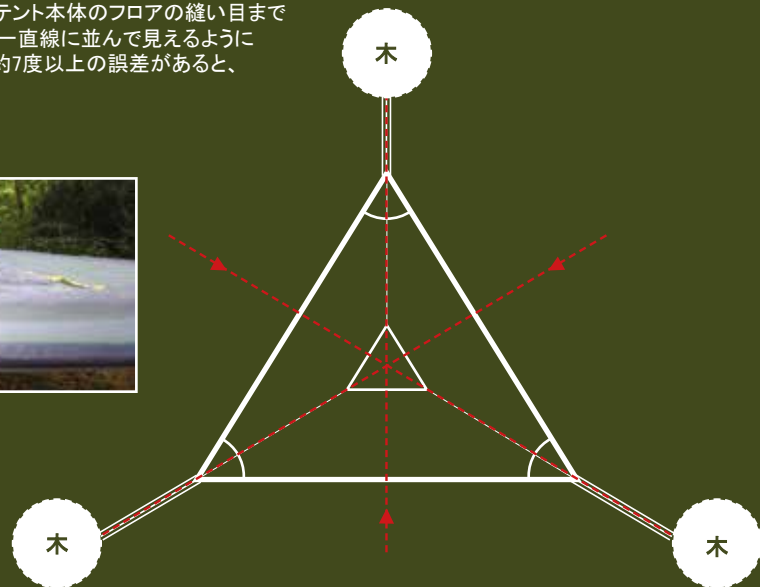


89. これで、テントサイル ユニバースを水に浮かべることができます。



目視による調整

ラチェットストラップからテント本体のフロアの縫い目まで見通します。できるだけ一直線に並んで見えるように調整しましょう。両側に約7度以上の誤差があると、性能に影響が出ます。



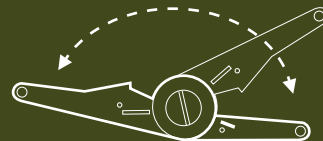
ラチェットの使用方法

- 1) 木の周りに巻き付けた長いストラップの端をループに通し、テントサイルのツリーテントに向かって伸ばします。
- 2) テントのコーナーにあるDリングに、ラチェットストラップのループを通し、そのループにバックルを通します。
- 3) 長いストラップの端をラチェットバックルスピンドルに通し、余ったオレンジのストラップをすべて引き出します。ラチェットを何度か動かして、オレンジのストラップをスピンドルに1.5周以上巻き取ったら、ロックします。こうして滑り止めをして、次のコーナーに移ります。
- 4) 各コーナーをアンカーポイントになる木に向けながら、手順3を繰り返します。
- 5) すべてのコーナーをもう一度チェックし、適宜調整してください。各ストラップに目線を合わせながら、テントがアンカーポイントの中央に来るようにしてください。各方向で7度ほどの誤差は許容範囲です。

6) ラチェットをできるだけ締めます。テントサイルのツリーテントに入る前には、ラチェットがロックされているかどうかを必ず確認してください。

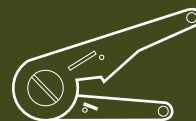
7) ストラップの端をきちんと巻き、つまずくことのないようにしてください。

ラチェットハンドルを前後に7~9回動かし、ストラップをピンと張ります。



ロック解除された状態

ロックされた状態



各種ポリシー

メンテナンス

テントサイルのツリーテントは毎回使用する前に、すべてのコンポーネントに構造的な損傷がないかどうかを見て、触って、必ずチェックしてください。使用後は清掃し、完全に乾かしてから収納し、乾燥した環境で安全に保管してください。

返品

ご購入から4週間以内の製品は、損傷がなく、清潔で乾燥した状態であれば返品いただき、返金または交換を承ることができます。1年以内の適正な使用によって、製造上の不具合が生じた場合は、製品の修理や交換を承ります。

天候

テントサイルのツリーテントは悪天候下で使用することを想定していません。嵐、大雨、強風、雷など、危険な状況をもたらす天候下では使用しないでください。このような状況でツリーテント内にとどまり、危険にさらされることのないよう、テントをたたんで収納することをお勧めします。テントサイルのツリーテントを悪天候下で設置したままにしておくと、破壊や損傷につながる恐れがあります(こうした破壊や損傷は保証の対象外となります)。テントサイルのツリーテントが悪天候にさらされた場合は、次に使用する前に、テント本体とアンカリング／ハンギングシステムを必ず点検してください。テントサイルのツリーテントは完全に乾かしてから収納してください。

カスタマーサービス

品質第一
私たちは、世界トップクラスの品質を誇るテントサイルのツリーテントを製造・販売します。

お客様重視

私たちは、迅速・丁寧・効率的なサービスを誠実に提供し、専門的・明確・タイムリーな情報をお客様とパートナーに提供します。

テントサイルの約束

私たちは、製造・流通・販売・サービスのあらゆる取り組みにおいて、「いつでも最初からきちんとやる」よう努めます。

不適正・不注意な使用やメンテナンスの怠慢、環境条件や気候条件、大規模な災害によって生じた損傷は、本ポリシーの対象外となります。

お問い合わせ先

info@tentsile-japan.com

注意事項

テントサイルのツリーテントは、娯楽、リラクゼーション、キャンプ、睡眠のために設計されています。絶対に飛び乗ったり、トランポリンやブランコのように揺らしたりしないでください。ロッククライミングはもとより、断崖やオーバーハング、急斜面の近くで使用することは想定していません。この製品を本来の目的以外に使用しないでください。設置高や重量制限にいつも注意してください。

保証

生地、パーツ、仕上がりに関する製造上の不具合はもれなく1年保証の対象となります。この保証は、テントサイルのユーザー向け資料(ウェブサイトを含む)で定めた通常の利用を目的とした当製品の機能性を対象とします。

ただし、不適正な使用やメンテナンスの怠慢、所定のサイズ未満の木や健康状態の悪い木の利用、テントサイルのツリーテントの近くにある尖ったものや火気、最大収容人数を上回る人数での利用、所定の設置高を超える高度での使用によって生じたコンポーネントの不具合とポールは保証の対象となりません。

空気注入式のベースに生じた損傷は保証の対象となりません。

環境条件や気候条件、大規模な災害によって生じた損傷は、本ポリシーの対象外となります。

非正規代理店や中古店で購入された製品は保証の対象となりません。

非正規品や中古品は、正規代理店が販売する正規品のような高い品質水準や信頼性が確保できません。非正規代理店で購入すれば、偽造品や盗品、コピー商品を新品として売りつけられる恐れがあります。

保証を受けるためには、製品の購入証明が必要になります。

本製品の製造元および販売元は、上記の記述を除き、特定用途に対する適合性、品質、商品性の保証を含めた保証および表明を、明示または黙示を問わず一切行いません。

本製品の製造元および販売元は、契約違反、保証違反、不法行為(過失を含む)、製造物責任その他の原因を問わず、特別損害、間接的損害、派生的損害、付随的損害の責任を一切負いません。かかる損害の可能性を告知されていた場合も責任を一切負わないものとします。本マニュアルの指示や警告に従わなかった場合は、ユーザーが請求権を放棄したものとみなします。

テントサイルのツリーテントのユーザーは、製造元および販売元の賠償責任と損害賠償責任がテントサイルのツリーテントの購入金額を上限とすることに同意し、かかるユーザーが被ったそれ以上の損害に関する請求権を撤回不能な私たちで放棄するものとします。



TENTSILE

www.tentsile-japan.com

Copyright©2018 Tentsile Ltd. All rights reserved.

特許出願中